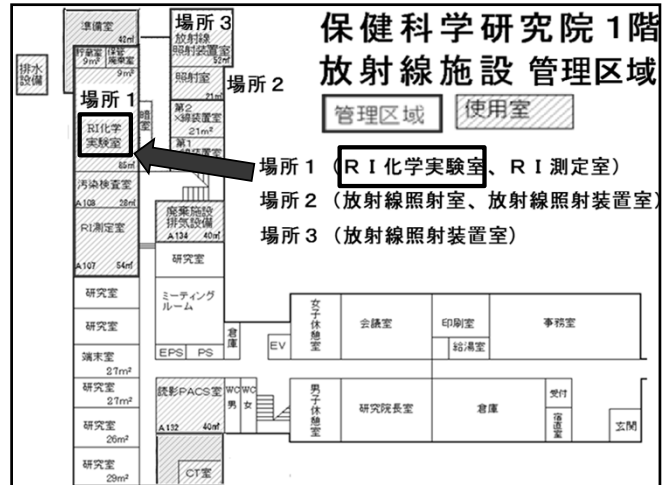


核医学検査技術学実習 Practice in Nuclear Medicine  
令和5年度 4年前期 月曜 13:00-15:00

実習の予定 Web実習(2はRI化学実験室で)

1. 放射線更新講習 Web
2. 注射針、バイアルの取り扱い RI化学実験室
3. フィルタ処理、量み込み Web
4. SPECT画像処理 Web
5. PET/CT画像処理 Web
6. Wet Type  $^{99m}\text{Tc}$  Generator Web
7. 5/29 13:00-14:00 期末試験 C301で

1



2

前半グループ	学生番号	後半グループ	学生番号
	02193326		02203319
	02200067		02203320
	02203301		02203321
	02203302		02203322
	02203303		02203324
	02203304		02203325
	02203305		02203326
	02203306		02203327
	02203307		02203328
	02203308		02203329
	02203309		02203330
	02203310		02203332
	02203311		02203333
	02203312		02203334
	02203314		02203335
	02203315		02203336
	02203316		02203337
	02203317		02203338

3

令和5年度 4年前期 月曜 13:00-		4月10日	4月17日	4月24日	5月1日	5月8日	5月15日	5月22日	5月29日
放射4年 核医学検査技術学実習 月曜 13:00~14:30									
前半グループ	健康診断	放射線更新講習	実習2	実習3	実習4	実習5	実習6	試験 C301	
後半グループ			実習3	実習2					
1 放射線更新講習(C301)スライド資料をダウンロードして紙かPC,スマホ等で参照して下さい									
実習2 注射器、バイアルの取り扱い(RI化学実験室) マスク着用									
実習3 Web実習 フィルタ処理、量み込み処理									
実習4 Web実習 SPECT画像処理									
実習5 Web実習 PET/CT画像処理									
実習6 Web実習 Wet Type $^{99m}\text{Tc}$ Generator の取扱い									
7 期末試験 C301室									

4

レポート提出先および質問等は下記へ  
hokudaikatoh@gmail.com

実習日の翌日~数日後までに、レポート提出すること。  
メールに添付するレポートファイル名には、  
核医学実習番号と学生番号と氏名を記載すること。

レポート提出一覧表を確認すること。

体調不良、発熱、咽頭痛など症状がある場合は、  
実習室に来ないように。(欠席メール連絡は出して下さい。)

5

汚染検査室 入口 (RI化学実験室入口)  
ルミネスバッジを装着。

汚染検査室

病院実習中も、  
ルミネスバッジは  
月末に必ずここへ返却。

学生証カードで入室可能。

管理区域  
(使用・貯蔵・廃棄施設)  
許可なくして  
立ち入りを禁ず

加藤 千恵次

6

## ガラスバッジ、ルミネスバッジ

X,  $\gamma$ ,  $\beta$  線が同時に測定できる光刺激ルミネッセンス線量計 (OSL: Optically Stimulated Luminescence)。

装着部位アイコン 氏名 ラベルグループ名1  
ラベルグループ名2

バッジタイプ記号  
事業所番号  
個人番号  
所属コード

所属カラー  
着用周期カラー

ルミネスバッジは、プロテクタの内側に装着。

装着部位は、女性は腹部、男性は胸部。  
(組織加重係数の大きい臓器分布の違いによる)

胸 腹

7

毎月の月末に全員のルミネスバッジを回収し、測定業者に郵送し、毎月の外部被ばく線量を計測、記録している。

月末には、必ずルミネスバッジをRI化学実験室入口のバッジ置場に戻すこと。

特に、4年生の病院実習期間には要注意。月末の戻し忘れ、バッジの紛失が多い。

本州等へ病院実習や研究などでバッジを持って飛行機に乗る際は、空港X線検査装置にバッジを通さないように申告する。

8

## 汚染検査室内で 専用の白衣とスリッパを着用



奥の実験室へ入る際は、黄色スリッパに履き替える。(履物底にRI汚染があっても、ここで床の汚染が止められる。) ハンドフットクロスモニタで手やスリッパ底などの汚染検査を行う

9

管理区域から退出する際は、ハンドフットクロスモニタで、手足(靴、スリッパ)、作業衣等に汚染がないことを検査する。

履物は脱がずに汚染検査する

万一、手足(靴、スリッパ)等に放射性汚染が検出された時は準備されている除染剤を使用して洗浄し、汚染を除去する。



10